令和６年度 校内研究主題

単元内自由進度学習の単元開発
～目標に向かって自ら学び続ける児童の育成～

大田区立梅田小学校　令和６年度研究構想図

教育のデジタル化

文部科学省　中央教育審議会

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

東京都教育大綱　東京の目指す教育

「誰一人取り残さず、すべての子供が
将来への希望を持って、自ら伸び、
育つ教育」

おおた教育ビジョン

「豊かな人間性をはぐくみ、
未来を創る力を育てる」

大田区立梅田小学校　研究推進委員会長期目標　「　「「Society5.0 に向けた梅田小

令和６年度　研究主題

単元内自由進度学習の単元開発

～目標に向かって自ら学び続ける児童の育成～

これまでの研究の経緯と成果

R6

授業に落とし込んで
実践を重ねる

**授業観の
アップデート**

自由進度学習の単元開発
自立した学習者像が整理された

R5

自立した学習者の
ファクター

**個別・協働を実現する
FACTORの整理**

個別最適で協働的な学びの
FACTORが整理された

～R4

情報教育

**ICTスキル
端末を文房具のように活用
できる。**

これまで情報教育を
研究してきた成果

単元内自由進度学習

「教師が作成した学習計画表に基づいて、児童が自分のペースで自分のやりたいところから学びを進めていく学習で、教師側からいえば、単元計画表を児童と共有するイメージ」

（義務教育の在り方ワーキンググループ第2回議事録）

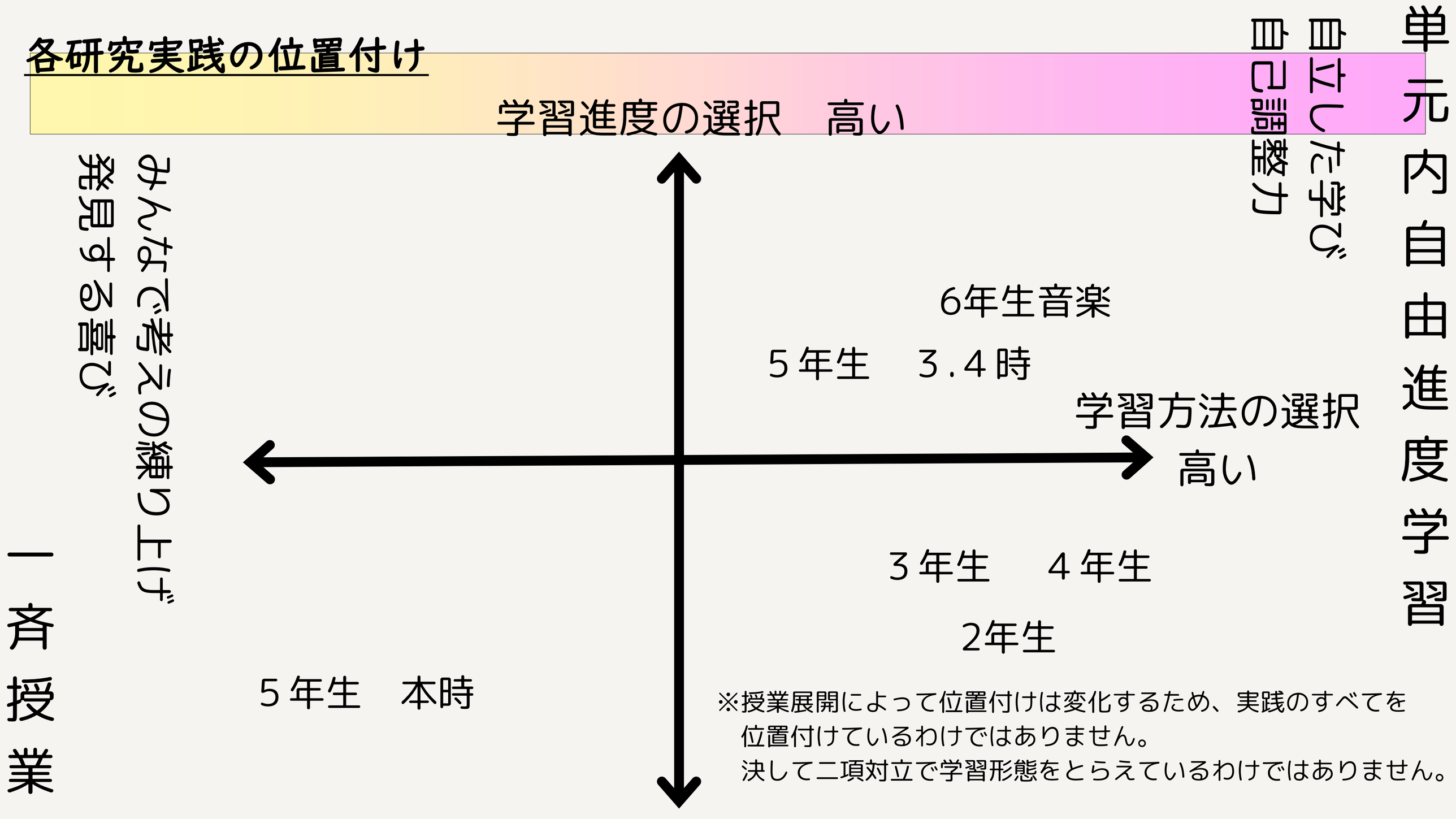
【参観および協議に向けた問い】

「自分（学習者）のゴールにたどり着くために、何が手助けとなりましたか。」

各研究実践の位置付け

学年	教科	単元名
1	国語	どうぶつの赤ちゃん
2	算数	かけ算
3	理科	じしゃくのせいいつ
4	理科	物の体積と温度
5	社会	自動車をつくる工業
6	音楽	いろいろな音のひびきを味わおう

各研究実践の位置付け



※授業展開によって位置付けは変化するため、実践のすべてを
位置付けているわけではありません。
決して二項対立で学習形態をとらえているわけではありません。

～目標に向かって自ら学び続ける児童の育成～
学習者像とそれに迫る教師の手だて

自立した学習者とは

見通す力

「自ら課題をもち、学習計画を立てる子」

- 単元導入　問題提示の工夫
  学習問題づくり
（各事象の提示の工夫等）
- 学習計画表（学びの手引き）の開発
  スプレッドシートの活用

実行する力

「学びのプロセスを自分で回す子」

- 学びのプロセスを意識するための学習材の開発
- 児童同士で学び合い、思考を深めるための工夫
  各教科の見方、考え方
  教師の役割変化

振り返る力

「自らの学びを振り返り、自己調整する子」

- 振り返りの視点の明示
  学習内容、学習方法、自己調整の方法
  次時への見通し
- 振り返りの共同参照
  スプレッドシートの活用

単元内自由進度学習を実践する上での本校の学びの整理

○児童観・授業観のアップデート

児童観

こどもは自立して主体的に学んでいける存在

授業観

学習環境（物的、人的）を整えることで学びを実現する。

対話や協働の姿が生まれにくければ、こどもに対して聞いてみるのはどうですか？

○実現するために前述の様々な手立ては不可欠であり、決して放任や環境任せになってはならない。

○一斉授業以上の見取り・観察からの形成的評価・支援が欠かせない。

▲自然発生する協働的な学びは学習環境だけでなく学級成熟度と関連が大きいことが予想され、状況に合わせた意図的・計画的な協働場面の設定が大切である。